



こころの声を聴く

From The Heart

永田円了

もっと「汚く」弾いてくれ “Play Dirty”

彼らの演奏は「きれい」すぎる。もっと「汚く」演奏してほしい！音をもっと内面から出てくるメロディーで演奏してほしい。ただ正確に弾いているだけではダメ、と技術のことばかりに気を囚われている優等生たちに、小沢征爾は、言った。

小さい時から英才教育を受けてきた世界中の優等生たち、譜面の音符は正確に取れても、なぜその音符がそこに書かれているかは、分かっていない。一つひとつの音符は、大切な命をもっている。君たちの演奏は、作曲家・メンデルスゾーンに全く敬意をはらっていない、と音楽界の巨匠・アイザック・スターンも力説する。

君たちは、どれだけ今弾いているブラームスのこと知っているのか？誰も作曲家の伝記を読めとは言わなかったのかい。ブラームスは19世紀に活躍したドイツの作曲家である。彼はロベルト・シューマンに師事し、内弟子に入る。ブラームス、20歳の時である。幸か不幸か、ブラームスは、シューマンの妻・クララに恋をしてしまう。このかなわぬ恋心が、苦悩に満ちたブラームスの心の中で昇華し、多くの名作を生んでゆくのであった。

イチローの名言

「バッティングとか技術のことは、たいしたことではない」「どうやって、その人は生きているのか、が大事なこと」と語るイチロー選手。大リーグでの現役時代は多くのスランプ、挫折を経験した。その都度、彼は大きくなっていった。ただ目先の評価のみに囚われていなかったからである。全てのことを、自らの心で受け止め、内側から聴こえてくる声に耳を澄ませたのであった。

「人間は機械ではない」「各部分は、全てがつながっていて、1つの身体として機能している」「生命には、部分はない」と、生物学者・福岡伸一氏は述べる。

日本で、ヘッドハンターとして活躍する渡辺紀子氏(54)、ねらった人の本質を観るには、単なる履歴書ではなく、直接の対話だという。その時の受け答え、反応、質問の鋭さで、直観的にその人の本気度なりを判断するという。問われるのは、その人のもつ技術力(部分)ではなく、むしろリベラルアーツ(全体的な教養)が決め手になると語る。

技術だけを磨いて数十年、定年退職を迎え、振り返ってみた時、果たして自分の全体が観えるだろうか。理系一本で研究の道を歩んできた生物学者・福岡伸一氏、現在は文系の教員として、教鞭をとる。気づきは、行動を生む。今からでも決して遅くはない。



<事例 DVD等>

イチロー／技術のことはたいしたことではない。どうやってその人は、生きているのかが大事なこと。

小沢征爾／鼻歌も命に通じている

アイザック・スターンの指導／あなた達は、作曲家の心を理解しているのか
指揮者・大野和士／全ての音符には、作曲家の心が表現されている
ブラームスの苦悩／恩師シューマンの妻・クララに恋をしてしまう

米映画『Music of the Heart』ニューヨークスラム街の小学生にバイオリンを教え、最終的には、カーネギーホールまで行く現実のストーリーを映画化
メリル・ストリープ／役作りは、必ず内側からつくる。Actor's Studioより
ヘッドハンター・渡辺紀子(54)／一般教養(Liberal Arts)の重要性
歌・『献呈』Dedication シューマン作詞・作曲、オペラ歌手による。

円了のホームページ：www.enryo.jp

